

感染症ベーシックスクール in 北海道・東北 開催報告

2018年8月4日（土）～5日（日）に京王プラザホテル札幌において、第1回感染症ベーシックスクール in 北海道・東北を開催しました。開催にあたりましては、感染症全般に基本的な内容をお伝えしたいと考え、北海道と東北の専門医の先生方に依頼をして、主として症例検討と講義形式でプログラムを作成しました。初期研修医は12名、研修医を終了した先生が5名で、計17名（北海道から11名、東北から6名）にご参加いただきました。

北海道がんセンターの藤田崇宏先生の軽妙でとてもわかりやすい症例発表に始まり、札幌医科大学の桧山佳樹先生からは尿路感染症に続発したカテーテル関連血流感染症の症例を発表していただきました。司会は山形県立中央病院の阿部修一先生と藤田崇宏先生にお願いし、最初は固かった雰囲気を和らげていただきました。次いで、札幌医科大学の黒沼幸治先生から専門である肺炎球菌ワクチンについて講演をしていただきました。次いで、福島県立医科大学の仲村 究先生と北海道大学の長岡健太郎先生のご司会で、札幌医科大学の小林智史先生と北海道大学の山下 優先生に呼吸器感染症の症例発表をしていただきました。土曜日の後半は、東北医科薬科大学の関 雅文先生にインフルエンザ、そして、私が梅毒について講演をしまして、意見交換会へと進みました。

二日目は、専門医認定制度について私から、さらに、現在、専門医を目指している岩見沢市立総合病院の富樫篤生先生に意気込みをお話いただき、最後に市立札幌病院の児玉文宏先生と東北大学の大島謙吾先生に輸入感染症について症例発表をしていただきました。お二人とも、参加者の元に歩み寄り、軽妙な質問で惹きつけられる最終セッションとなりました。最後に、関 雅文先生にご挨拶をいただき、二日間のプログラムを終了しました。

北海道と東北は、それぞれがとても広く距離感も半端なく、多くの研修医の先生方にお集まりいただくには不利な条件がありますが、少なくとも講師の先生方のやる気満々の意欲は十分に伝わり、概ね満足していただけたものと考えております。



@懇親会

第1回 感染症ベーシックスクール in 北海道・東北

会期:平成30年8月4日(土)~5日(日)

会場:京王プラザホテル札幌

〒060-0005 札幌市中央区北5条西7丁目2-1 TEL.011-271-0111(代)

参加費:5000円(意見交換会費、宿泊費は別途)

8月4日(土)

午後1時00分~1時10分 Opening remarks Ice Break 札幌医科大学 高橋 聡

午後1時10分~2時40分 症例検討会1 カテーテル関連血流感染症

司会 山形県立中央病院 阿部修一、北海道がんセンター 藤田崇宏

症例発表者 ①北海道がんセンター 藤田崇宏

②札幌医科大学 桧山佳樹

午後2時40分~3時10分 特別講演1「肺炎球菌ワクチン」札幌医科大学 黒沼幸治

<休憩>

午後3時20分~4時50分 症例検討会2 呼吸器感染症

司会 福島県立医科大学 仲村 究、北海道大学 長岡健太郎

症例発表者 ①札幌医科大学 小林智史

②北海道大学 山下 優

<休憩>

午後5時00分~5時40分 特別講演2「インフルエンザ」東北医科薬科大学 関 雅文

午後5時40分~6時20分 教育講演1「梅毒と性感染症」札幌医科大学 高橋 聡

<移動>

午後6時30分~8時00分 意見交換会(会費 2000円)

8月5日(日)

午前8時30分~9時00分 感染症専門医認定制度について 札幌医科大学 高橋 聡

午前9時00分~9時30分 教育講演2「感染症専門医を目指して」岩見沢市立総合病院 富樫篤生

午前9時30分~11時00分 症例検討会3 輸入感染症

司会 市立札幌病院 児玉文宏、東北大学 大島謙吾

症例発表者 ①市立札幌病院 児玉文宏「感染症腸炎」

②東北大学 大島謙吾「海外渡航歴のある発熱患者」

午前11時10分~11時30分 Closing remarks 東北医科薬科大学 関 雅文